



414
A 509



商務省設置意見

近日新聞紙ノ報スル所ニ據ルニ政府ハ新ニ工
務省ヲ設置シ農商務省ニ於ケル工務鑛山ノ兩
局事務及各省土木建築ノ事務ヲ統轄セラル、
ノ計畫アリ而シテ此事タル特ニ閣下ノ主張ニ
係ルト云フ果シテ然ラバ不肖健三曾テ卑見
アリ今謹ミテ其梗概ヲ述ベ以テ閣下ノ參
考ニ供セント欲ス閣下公退ノ餘暇如シ瀏
覽ノ榮ヲ賜ハバ幸甚
曩ニ前農相榎本子爵ノ掛冠スルマ閣下
外政ノ重任ヲ荷フニモ關セス欽命忽テ下
リテ農相ノ職ヲ兼攝セラレ健三穴切ニ謂
ラク農文兩相ノ如キ從來當局概テ其人ヲ

大正十一年四月
隈 侯爵 寄贈



ヲ得ズ政府ノ内外ニ對シ其勢力ヲ萎靡トシ
テ振ハス戦後經營ノ第一着トシテ国家富
強ノ根底タル高工業ノ政策ハ泛々トシテ定
マラス有識ノ士常ニ以テ憂ト為ス閣下ハ世
ノ具瞻シテ名望閱歴ニ兼テ備ハリ特ニ財政実
業ノ經綸ヲ蓋蓄スルコト深遠ナリトスル者
尔今高工ノ政必ス觀ルベキモノアラント
既ニシテ農商務省ノ官制ヲ公布セラルハ、ヲ
見レバ乃チ高工局ヲ分割シテ商務工務ノ二
局トナシ其他二三ノ施設皆以テ時宜ニ適セ
ザルナク且賢才ヲ登用シ積弊ヲ矯正スル
等著々觀ルベキモノ多シ凡ソ此等ノ事タル
他人ニ在テハ則チ固ヨリ偉ト稱スベキモ閣下

ニ在リテハ則チ未ダ以テ多トスルニ足ラス健
三等ノ閣下ニ求ムル者豈唯此ニ止マランヤ
維新以降文物百度駸々トシテ進ミ其疾行急
歩曾テ先進國ノ歴史ニ於テ其例ヲ見ザル所
ナリ殊ニ戦捷ノ結果振古未曾有ノ國光ヲ發
揮シタルト共ニ伍伴列國ノ視線ヲ惹キ為ニ
自衛即國防ノ備一日モ等閑ニ附スベカラス是
ニ於テ軍備擴張ノ計成リ兵艦砲機ノ費國
帑ヲ傾ケ而シテ殖産教育ノ務放棄シテ顧
ミザルモノ、如シ是レ蓋シ國家進歩ノ軌道
ヲ誤マルモノト謂フベシ夫レ國トシテ進歩ノ
軌道ヲ誤マルモノ誰カ異日ノ禍ヲ免ルコト
ヲ得ニヤ

人アリ云フ戦後ノ財計如何輸出及經濟ノ
情況如何消費生産ノ比例如何ト蓋シ思フ軍
備ヲ縮小シ政務ヲ弛廢シ輕租薄歛以テ之
ヲ支フル如キハ断シテ我國是トスベカラス先
進各國ト競争セントスルニハ必スヤ相當ノ
費用ヲ抛キ時務ノ急ニ應セザルベカラス然リ
ト雖之ガ為ニ國ノ生産力ニ比例セザル過度ノ
國費ヲ増シ遠ニ重税ヲ課センカ則テ經濟上
竟ニ言フ可ラザル困厄ヲ招カザルコトヲ得
ス
夫シ然リ故ニ今ノ時ニ方テハ勇往直前唯々
生産力ノ増進ヲ圖ルノ一方アルノミ
蓋シ速ニ生産力ヲ増進セント欲セバ宜ク

商業及製造事業ノ發達ヲ促サザルベカラ
ズ即チ政府ハ先ツ高工政策ヲ確立シ以テ斯
業ヲ勸誘スルヲ要ス夫ノ外國貿易ノ保護
ノ如キ勞働問題ノ如キ政府ノ最モ力ヲ竭
スベキモノナリ此等ノ事項ヲ適當ニ處理
セント欲スレバ務メテ性質ノ相異ナルモノ
ヲ省キ極メテ密接シタル事務ヲ合シ以テ
別ニ一省ヲ構成シ而シテ巨匠ノ手腕ニ倚
賴セザルコトヲ得ズ

商務省ヲ設ケ適當ナル長官ヲ得テ商業
ヲ勸誘セザルベカラストノ事ニ付佛國シ
ヲテ一氏著書中ニ説アリ頗ル我時事
ニ剴切ナルヲ覺テ因テ今抄譯シテ以

テ参考ニ資ス

謹ミテ現在ノ官制ヲ按スルニ農商務省所管ノ事務ハ農工商水産林野鑛山發明意匠商標及地質ニ關スルモノナリ蓋シ高ト工トハ輔車相依ルノ關係ヲ有シ互ニ離ル可ラズ農業山林水産等ノ事務ト商工事務トハ之ヲ均ク實業ト稱スト雖實際ノ關係ニ至テハ必シモ密接スト云フヘカラズ寧ろ銀行税関領事館并郵便電信鐵道等ノ事務ト相俟テ消長スルコト少ナカラス

抑政府各省ノ區別ハ内外務陸海軍司法大藏等ヲ除クノ外之ヲ特立セシムルト否トハ國ノ便宜ニ是レ依リ別ニ其原則トスルモノナキ

ニ似タリ

假令ハ英、澳、普、佛ノ如キハ現ニ高務省ヲ置キ農務ト區別スルモ伊國ノ如キニ至リテハ則チ高工商農ヲ兼管シタル一省ヲ置クが如シ

因テ思フニ農工商務省ヲ分割シ高務及農務ノ兩者ト為シ而シテ高務省ハ商業工業專賣特許博覽見會等ヲ管理シ農務省ハ農務山林水産鑛山等ノ事務ヲ管理スルモノトシ更ニ便宜鐵道土木ノ事務ヲ高務省ニ隸屬セシムルハ聯絡相通シ高工業ノ行政上ニ於テ便益少ナカラザルベシ

波ノ道路ノ風説ノ如ク工務省ヲ設ケ以テ
商業ト工業トヲ隔離スル如キハ其性質ニ
於テ許ス可ラザル者アリ故ニ商務ヲ基礎
トシ之ニ工業ヲ附隨セシメ更ニ土木錢道
ノ如キモノヲ隸屬セシムルヲ以テ最モ便利
ナリトス
嘗テ聞ク農商務省ハ往年閣下ノ建議ニ
基キ創設セラレタリト故ニ今新ニ商務省
ヲ設ケ高工業ノ勸誘保護ニ重キヲ置キ
以テ高工政策ヲ確立シ範ヲ後日ニ正ル
ルモノ又馬ゾ閣下ノ力ニ賴ラザルコトヲ得
ンヤ因テ道路ノ説ヲ聞クニ及ビ其所見ヲ
陳述スルコト此ノ如シ恐懼再拜

明治三十年八月三十一日

高等商業學校長
兼農商務省參事官 小山健三

外務大臣兼農商務大臣伯爵大隈重信公閣下

明治三十二年八月三十一日

佛國レヲテト氏著書抄譯
商務省ヲ論ス

總論

我カ國ニ於テハ商業ノ實施ヲ以テ第一位ニ
置キ而シテ主トシテ之ニ留意スルコトヲ為サ
ス蓋シ我カ上中等社會ノ教育ハ自然此社會
ヲシテ商業ヲ嫌忌セシムルコト甚シ故ニ此兩
社會ノ人士ハ自ら身ヲ此ニ委ヌト雖モ故ラ商
業ニ違反セントスルノ意思ヲ抱ケリ請フ左ニ
シヒエールヒエウアリエノ説ヲ引証セン
其説ニ云ク我カ金満家若クハ富有ノ者ヨリ
資産豊ナルニアラガルモ教育アル者ニ至ル
迄皆商業教云フ嫌忌シ甚キハ工業若クハ製

造業ノ教育ヲ忌憚ス何トナレハ此等ノ社會
 ハ商工上ノ職業ヲ行フヲ蔑視スルノ癖習ニ
 浸染シタレバナリ是ヲ以テ其子弟ニ此業ヲ
 課スルヲ好マズ夫レ方今全社會ノ組織ハ既
 ニ變動シタルニ拘ラス尚ホアリストトプラ
 トンシセロシノ如キ古代碩學巨人ノ舊見ニ
 拘泥シテ此職業ヲ輕視スルヲ致スト
 我々國民ノ精勵ニシテ怠ラサルヨリ其性能風
 土及ヒ其國ノ位置ニ至ル迄咸ク商業ニ適セサ
 ルナシ既ニ此ノ如クナルカ故ニ我々國民ノ始メテ商
 業國トシテ第一位ヲ占メズ然ラサルモ依然旧位
 置ヲ維持スル所以ノ者モ亦及テ官私立中學校
 於テ既ニ養成シタル商業嫌忌ノ心ノ致ス所ニ

アラズンバアラズ夫ノ大布列顛ノ稍我々邦人
 ノ商業上維持セザリシ位置ヲ占有スルニ至リ
 タル所以ノ者モ亦我々邦人ノ此情念ヲ抱持ス
 ルニ由ラズンバアラズ蓋シ我々邦人ハ既ニ此情
 念ニ馳驅セラレテ前世期ノ末年ト今世期トニ在
 テ商業上ノ失敗ヲ致セリ加之英ノ政事家ニシ
 テ活眼ヲ有シ經濟ニ通スル者ハ事ノ是非ヲ顧
 ミズシテ專ラ成績ヲ擧クベキノ政策ヲ施シ堅
 忍能ク之ヲ斷行シ其國民ノ為メニ工業ヲ獎勵
 シ又商業ヲ擴張スルコトヲ怠ラズ故ニ其本國
 ノ叢爾タル小島タルニ拘ラズ一大商業國ヲ建
 設シ又之ヲ鞏固ナラシム以テ英國人ヲシテ今日
 ノ如ク富強タラシタリ是レ實ニ經驗ニ富ミタ

ル政事家が其任務ヲ盡シタル者ニアラスヤ是ヲ以テ我カ國ハ商業界ニ於テ第一位ヲ專有スルヲ得ベカリシニ終ニ第二位ニ降リタリ然レドモ我カ國人ハ英國ノ利益ヲ本義トスルガ如キ政策ヲ蔑視シ我カ國ノ如キ義侠ヲ貴ブノ人民ニハ此政策ノ不適當ナルヲ口実トシ以テ自ラ慰メ工商上波ノ下風ニ在ルヲ念トセサルカ蓋シ願フニ凡ソ何ノ國ニ論ナク其人民ヲシテ軌道ヲ誤ラシメ且義侠ノ如キ美名アル情念ヲ以テ其方ニ行フ所ノ過失ヲ裝フニ至テハ是レ豈兎戯ヲ演スルモノニアラスヤ

方今獨逸ハ其人民ノ商業ノ薰陶宜キヲ得又工業發達ニ高工業ノ為メニ領事等ヲ各國ニ差遣

シテ其國ヲ代表セシムルノ法宜キニ合ヒ通商條約ヲ締結スルニモ亦便宜ヲ領シ且政治經濟上ノ處理恰當ナルヲ致シ將々自ラ英國ノ嘗テ取ル所ノ軌道ニ沿フテ突進シ而シテ之ニ追蹙シテ終ニ以肩之甚シキハ之ニ先鞭ヲ著セントスルノ意念ヲ抱ケリ我カ國ニ於テハ戰爭以後議事院ノ爭議ヲ以テ空ク十六年ヲ經過シタリシカ之ニ反シ獨逸ハ此十六年間ヲ利用シテ自國ノ商業ヲ發達シ以テ我カ國商業ノ衰頽ヲ促セリ此ニ由テ之ヲ觀シハ我カ國民ニシテ慎重深ク意ヲ留メザラニ乎則テ我カ國民ハ商業等ニ関シ久シカラスシテ第三位ニ墮落セズンバ已マザラントス

然ラハ則テ高工業ニ就テ謬見ヲ抱ケル普通教育ニ任スル教官ノ癡論ヲ排除シ又我カ經濟上ノ進歩ヲ遲緩ナラシメタル政治上ノ弊竇ヲ擯斥スベキノ時機方ニ到来シタリト謂フベシ之ヲ畧言スレハ我カ國モ亦理義ニ本ク所ノ常道ニ由リ又特ニ終始不変ノ志操ヲ以テ處理スルノ時機ニ達セリ 於是我カ國民ハ事ノ實際ニ迫ラシテ事理ニ通曉シ當サニ銳意断行セサルベカラサルヲ了知ス又我カ國民ハ代議負ト政府トニ依頼シテ經濟上制度ノ更改ヲ望ムリ而シテ其企望ヲ達セサルコト尚ホ久キニ且ラハ其危害ヲ蒙ルコトナキヲ得サルベシ蓋シ此ノ如キノ偉業ヲ實施スルハ宜ク代議負ト政府ノ當ニ任スベキ所

ナリ
予以為ラク凡ソ事ニ當リテ第一著手ヲ下サンニハ力メテ其事物ト之ニ任スルノ機關トヲシテ各其所ヲ得セシメ以テ經濟上ノ階級ニ順序ヲ定ムルヲ便トスト蓋シ何事ニ由ラス之ヲ處スルニ順序ナク又方式ナキトキハ之ヲシテ良成績ヲ養セシム可カラス我カ商務者ハ現ニ權力ヲ有セスト雖モ論理上當ニ之ヲ領セサルベカラズ随テ我カ國ハ先ッ須ラク之ヲシテ此權力ヲ有セシメサルベカラズ今ヤ商務者ハ恰モ背面ノ位置ヲ占メ為メニ勢力及資力ニ乏ク陸軍大蔵外務ヨリ内務若クハ司法ノ各省ニ至ル迄時宜ニヨリ更ニ第一位ヲ占ムルコトアリト雖モ商

務省ニ至リテハ未タ曾テ此ノ如キノ位置ヲ領
シタルコトアラザリキ今ヤ政治ノ方向ハ之ヲ
シテ一変セシメサル可カラズ我カ國ハ方今平
和ニシテ兵乱ノ患無ク且高ホ少壯ノ民主國ニ
シテ旧代ノ羈絆束縛ヲ解脫セント欲ス而シテ
依然特ニ前代王国ニ見ル所ノ外交上ノ認識ヲ
踏襲ス是ヲ以テ今世政治上及ヒ社會上ノ情態
ニ隨ヒカメテ国政ヲ料理セント欲ス故ニ外務
大藏陸軍司法内務各省ノ如キハ既ニ之ヲ擴張
セシムルヲ要セズ乃チ爾今頃ラカ商務省ニ重
キヲ置カシムル可ラス故ニ其他ノ官衙ハ皆
僅ニ之カ屬局タラシメテ可ナリ
然ラハ商業上一大起業ニ任スヘキ第一部局ハ

何有ヲ以テスベキヤ曰ク外務省ヲ以テ之ニ任
セシムヘキ乎或ハ内務省ヲ以テスヘキ乎將タ
大藏省ヲ以テスヘキ乎抑又會計検査院ヲ以テ
スヘキ乎又ハ司法省ヲ以テスヘキ乎否々決シ
テ然ラス此ノ如キ部局ハ之ヲ以テ此ノ如キ商
業ニ任スルノ部局ト為スヲ得ス此等ノ數者ハ
素ト欠ク可ラザル機關ナリト雖モ僅ニ此商業
ヨリ生スル所ノ結果タルニ過キス故ニ商業管
理局ハ前記ノ數者中第一位ヲ占ムル者ナリ
國家ノ高業ニ於ケルモ亦然リ商業ノ盛衰ハ國
家ノ命脈ニ繫レリ而シテ其商業ノ運命ヲ左右
スルヤ時ニ巧拙ノ異ナル無キ能ハス故ニ商業
進歩スルトキハ國勢繁盛ヲ致シ又商業沮止

シ若クハ衰頹スルトキハ國庫空窮乏ヲ告々尋
常人ト均ク遂ニ倒産ヲ招クコトアラシク
然ラハ商務者ハ經濟上ノ点ヨリ觀察シテ官
省中首位ヲ占ムベシ加之政治ハ經濟上ノ利益
ヲ主トスルヲ要スルカ故ニ政治上ノ關係ヨリ
スルモ亦主位ヲ占ムサルヲ得ズ

我ク佛國ハ一千八百八十年ニ至ル迄絶ヘズ其
商業ヲ擴張シタルカ爲メニ財政宜キヲ得サル
モ尚ホ且國勢ヲ維持スルヲ得タリ然ルニ是ヨ
リ後チ其商業衰退シ妨害生シ来ルニ至レリ
然レトモ佛國ヲシテ此ノ如キ衰頹ヨリ救濟セ
シムヘキハ豈ニ獨リ商務者ノ能クヌ可キ所ナ
ランヤ宜ク國民其責ニ任シ商業教育ヲ施ス

ヘシ然ルニ學者動モスレハ行政官ノ意ヲ迎ヘ
テ高勢挽回ノ策ヲ勸告シ又妄ニ其功ヲ稱スル
ニ至ル若シ我カ國ノ商業ニシテ依然衰微シタ
ランニハ凌ラニ歳出ノ節審ヲ主トシ又其財政
宜キヲ得ルモ既ニ我カ國ヲ最後ノ倒産ヨリ
救濟スルヲ得サルベシ何トナレハ國民タル者
ハ節儉ニ依リテ生活スル者ニアラス即チ勤勉
自ラ工商ヲ事トシテ以テ生存スル者ナレバ十
リ
然ラハ則チ商業ヲ繁盛ナラシメントスルトキハ
一國ヲ以テ一大無名商社ノ如ク看做シ國民ノ
全部ヲシテ之カ普及ヲ計ラシメサル可ラス戰
争ノ後ニ至リヒスマルク公ガ獨逸國ノ爲メニ

計ルノ目的蓋シ此ノ如シ而シテビスマルク公
ガ此ノ如キノ策ヲ講スルヤ特ニ戦勝ノ歡喜ト
熱狂トノ為メニ其心氣ヲ奪ハル、ヲ以テ殆ト
當然ト為スノ時ニ在リタリキ
若シ我カ佛蘭西ニ於テ幸ニシテコルベール
チユルゴロノ如キ大經綸家ヲ發見シ以テ之ヲ
シテ商務者ノ卿相タラシメシ乎議會ノ變動ニ
拘ラスシテ之ニ其位置ヲ維持セシメサル可ラ
ス果シテ然ランニハ此新コルベールタリ新々
ルゴロタル者モ亦ビスマルク公ノ目的トスル
所ヲ以テ其目的ト為スナラン蓋シ議會ハ變動
頻繁ナルヲ以テ此ノ如キノ任務ヲ果スコトヲ
得ザルベシ

原註 我カ合議制度ニ由ルトキハ内閣ノ鞏
固ナラズシテ變動シ易キカ如キ是レ我カ憲
法ノ一弱点タラズンバアラズ予ヲ以テ之ヲ
見レバ此ノ如ク内閣ノ變動シテ鞏固ナラサ
ルトキハ各般ノ政務ニ関シ確實ニシテ且一
定不變ノ組織ヲ實施スルヲ得サルカ如キ者
アラシ夫レ佛國ノ如キ共和國ハ内閣責任ヲ
定ムルニ非レバ其基礎鞏固ナルヲ得サル
ベシ若シ内閣ノ變動常ナキトキハ其終リ
▼國家ノ敗亡ヲ來スヲ見シ故ニ共和政府ハ
永ク此ノ如キ失計ヲ行フコトヲ得ザルベシ

